

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

# 東京都感染症週報

2018年第3週  
(1月15日～1月21日)

- \* 2018年1月24日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は感染症豆知識「東京オリンピック・パラリンピックに向けた感染症サーベイランスの強化」も掲載しています。

平成30(2018)年1月25日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

## 全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2018年3週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		52週	1週	2週	3週	年累計	3週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	82	17	39	55	111	309	795
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 <sup>*1</sup>							
	中東呼吸器症候群 <sup>*2</sup>							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
鳥インフルエンザ(H7N9)								
三類	コレラ							2
	細菌性赤痢			1	2	3	4	8
	腸管出血性大腸菌感染症	2	2	1		3	15	30
	腸チフス						1	2
	パラチフス							
四類	E型肝炎				3	3	4	8
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1		3	3	6	7	16
	エキノコックス症							
	黄熱							
	オウム病							
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*3</sup>							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							
つつが虫病	3			1	1	5	27	
デング熱		2	1	2	5		5	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

\*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

\*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		52週	1週	2週	3週	年累計	3週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症		1			1		1
	マラリア						2	2
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症		2		1	1	2	17
レプトスピラ症								
ロッキー山紅斑熱								
2018/1/24集計								

( 全数把握対象疾患のコメント・一類～四類 )

〈二類感染症〉

**結核 55件** 患者および死亡後診断 37件(肺結核 26件、その他の結核 10件、肺結核及びその他の結核 1件)、無症状病原体保有者 18件、年齢は5歳未満 2件、10代 1件、20代 8件、30代 5件、40代 9件、50代 3件、60代 3件、70代 14件、80代 8件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 52件、ネパール 2件、中国 1件であった。

〈三類感染症〉

**細菌性赤痢 2件** 患者 2件、菌種はソンネ 1件、不明 1件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地はインド 1件、カンボジア 1件、推定感染経路は経口感染 1件、不明 1件であった。

〈四類感染症〉

**E型肝炎 3件** 患者 3件、年齢は40代 1件、50代 2件、推定感染地は国内 2件、台湾 1件、推定感染経路は経口感染 2件、不明 1件であった。

**A型肝炎 3件** 患者 3件、年齢は20代 1件、40代 2件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は同性間性的接触 3件であった。

**つつが虫病 1件** 患者、年齢は30代、推定感染地は国内であった。

**デング熱 2件** 患者、病型はデング熱 2件、血清型は不明 2件、年齢は30代 1件、50代 1件、推定感染地はフィリピン 1件、ベトナム 1件であった。

**レジオネラ症 1件** 病型は肺炎型、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は水系感染(自宅浴槽)であった。

## 全数把握対象疾患 報告数（五類） 2018年3週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		52週	1週	2週	3週	年累計	3週	年累計
五 類 ( 全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	4	1	3	3	7	11	25
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1					2	7
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5	3	1	6	10	29	78
	急性脳炎 *1	4	2	4	3	9	24	67
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1	1	2	4	12
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		3	2	3	8	15	50
	後天性免疫不全症候群	7	1	2	5	8	13	39
	ジアルジア症			1		1	2	3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	1			1	11	28
	侵襲性髄膜炎菌感染症				1	1	1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	7	16	15	38	64	288
	水痘(入院例に限る)	1	1			1	4	20
	先天性風しん症候群							
	梅毒	37	7	25	39	71	93	236
	播種性クリプトコックス症			1		1	3	5
	破傷風							
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症							
	百日咳 *2			3	5	8	38	96
風しん						2	2	
麻しん							1	
薬剤耐性アシネトバクター感染症							1	

2018/1/24集計

\*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

\*2 2018年1月1日より追加指定された。

### （全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 3件** 病型は腸管 3件、年齢は50代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は経口感染 1件、不明 2件であった。

**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 6件** 患者 6件、病原菌はエンテロバクター・アエロゲネス 4件、エンテロバクター・クロアカ 2件、年齢は40代 1件、70代 3件、80代 2件、推定感染地は国内 5件、インド 1件、推定感染経路は医療器具関連感染 1件(尿路カテーテル)、抗菌剤使用 2件、不明 3件、90日以内の海外渡航歴および医療機関受診歴あり 1件、無し 5件であった。

**急性脳炎 3件** 病原体はインフルエンザウイルスA型 2件、インフルエンザウイルスAH1pdm型 1件、年齢は10歳未満 3件(うち5歳未満 2件)、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3件であった。

**クロイツフェルト・ヤコブ病 1件** 古典型CJD、年齢は70代であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3件** 血清群はA群 2件、G群 1件、年齢は50代 1件、60代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は創傷感染 1件、不明 2件であった。50代の患者は死亡が確認された。

**後天性免疫不全症候群 5件** AIDS 1件、無症候キャリア 4件、性別は男性 4件、女性 1件、AIDS患者の年齢は40代、無症候キャリアの年齢は20代 2件、30代 2件、推定感染地は国内 4件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 5件(同性間 4件、異性間 1件)であった。

**侵襲性髄膜炎菌感染症 1件** 血清型は検査未実施、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、家族および接触者については予防内服済みであった。

**侵襲性肺炎球菌感染症 15件** 血清型はすべて検査未実施、年齢は30代 1件、50代 4件、60代 2件、70代 3件、80代 4件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 14件、不明 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 9件、不明 6件、肺炎球菌ワクチン接種歴は価数不明1回接種済み 2件、無し 7件、不明 6件であった。60代 1件、70代 1件は死亡が確認された。

**梅毒 39件** 患者 26件(早期顕症梅毒Ⅰ期 12件、早期顕症梅毒Ⅱ期 12件、晩期顕症梅毒 2件)、無症候梅毒 13件、性別は男性 27件、女性 12件、年齢は10代 4件、20代 9件、30代 11件、40代 11件、50代 2件、70代 2件、推定感染地は国内 36件、韓国 1件、不明 2件、推定感染経路は性的接触 36件(同性間 9件、異性間 24件、性別不明 3件)、同性間性的接触又は静注薬物常用 1件、不明 2件であった。

**百日咳 5件** 患者 5件、年齢は10歳未満 2件(うち5歳未満 1件)、30代 1件、40代 2件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は不明 5件であった。百日咳含有ワクチン接種歴は3回接種済み 1件、1回接種済み 1件、不明 3件であった。

※ 第2週該当分として〔五類〕劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件、梅毒 1件の追加報告があった。

# 定点把握対象疾患 報告数 2018年3週

上段: 報告数  
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2017年	2018年			報告 医療 機関数	定点 医療 機関数		
		52週	1週	2週	3週				
小児科	RSウイルス感染症	96 0.40	54 0.21	51 0.20	70 0.27	262	264		
	咽頭結膜熱	141 0.59	46 0.18	72 0.28	67 0.26				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	601 2.50	227 0.90	486 1.86	712 2.72				
	感染性胃腸炎	2,510 10.46	763 3.02	1,676 6.42	1,844 7.04				
	水痘	124 0.52	108 0.43	110 0.42	81 0.31				
	手足口病	59 0.25	10 0.04	26 0.10	22 0.08				
	伝染性紅斑	18 0.08	19 0.08	33 0.13	50 0.19				
	突発性発しん	90 0.38	52 0.21	121 0.46	122 0.47				
	ヘルパンギーナ	2 0.01		3 0.01	2 0.01				
	流行性耳下腺炎	28 0.12	16 0.06	18 0.07	14 0.05				
	川崎病 *1	6 0.03		2 0.01	2 0.01				
	不明発しん症 *1	21 0.09	3 0.01	6 0.02	7 0.03				
	インフル エンザ	インフルエンザ *2 6,721 17.37	4,357 10.78	9,456 22.84	20,612 49.67			415	419
	眼科	急性出血性結膜炎							38
流行性角結膜炎		21 0.57	16 0.42	26 0.68	14 0.37				
基幹	細菌性髄膜炎 *3	2 0.08	1 0.04			25	25		
	無菌性髄膜炎	1 0.04			2 0.08				
	マイコプラズマ肺炎	6 0.24	1 0.04		2 0.08				
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	2 0.08	1 0.04	2 0.08					
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス) *4		1 0.04	3 0.12	1 0.04				
	インフルエンザ入院	51 2.04	92 3.68	104 4.16	140 5.60				
2018/1/24集計									

\*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

\* 百日咳は2018年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更

## ( 今週の注目される定点把握対象疾患 )

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は増加し、流行警報レベルを超えています。今後、大きな流行が予想されるため注意が必要です。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2018年3週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	5			8	2			1			
6～11か月	21		5	79	6	1		26			
1歳	22	13	32	237	2	4	3	68	1		
2歳	15	12	40	183	7	2	10	22			
3歳	4	4	56	154	7	4	4	3		1	
4歳		12	97	135	16	7	6	1		1	
5歳	1	7	86	144	4		5	1	1	1	2
6歳		7	93	103	17		7			1	
7歳		3	96	73	6	3	4				
8歳	1	1	50	76	4		5			5	
9歳	1	2	45	56	3		2			2	
10～14歳		2	73	230	5		3			1	
15～19歳		1	9	70						1	
20～29歳		3	30	296	2	1	1			1	
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	70	67	712	1,844	81	22	50	122	2	14	2
先週比	19	-5	226	168	-29	-4	17	1	-1	-4	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科			基幹				
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		37								1
6～11か月	1	145								1
1歳	3	540								3
2歳	1	639		1						5
3歳		774								1
4歳		1,062								4
5歳	1	1,238								2
6歳		1,322							1	1
7歳		1,425								2
8歳		1,185								
9歳		1,070								3
10～14歳	1	3,914		1			2			7
15～19歳		1,304								2
20～29歳		994		2						2
30～39歳		1,110		4						3
40～49歳		1,548		3						5
50～59歳		1,095		3						3
60～69歳		623				1				12
70～79歳		364				1				31
80歳以上		223								52
合計	7	20,612		14		2	2		1	140
先週比	1	11,156		-12		2	2	-2	-2	36

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2018年3週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	0.33			3.00				0.33			
中央区	0.33		2.00	10.67	0.33		0.33				
みなと		0.50	2.17	7.67	1.50			0.33			
新宿区	1.38		3.25	5.38	0.25			0.13			
文京		0.50	2.25	9.25	0.25	0.25	0.25	0.50			
台東		0.50	4.00	9.75	0.50			0.50			
墨田区	0.20	0.20	2.80	4.80				0.40			
江東区	0.22	0.33	2.78	10.22	0.33	0.22		0.44			
品川区		0.13	1.63	7.38	0.25	0.13	1.13	0.13			
目黒区	0.80	0.20	2.60	8.20	0.20		0.40	0.20		0.20	
大田区	0.92	0.69	4.08	7.69	0.31		0.31	0.62			0.08
世田谷	0.13	1.00	2.38	5.44	0.44		0.31	0.44		0.06	
渋谷区	0.25		0.25	5.25	0.75	0.25	0.75	0.50			
中野区			3.50	13.00	0.17	0.17	0.33	1.17			
杉並			1.00	7.45	0.27	0.09	0.45	0.36			
池袋	0.50		1.25	3.25							
北区	0.17		0.33	7.33	0.67			0.17			
荒川区	0.25		4.00	8.00			0.50	1.25		0.25	
板橋区	0.10		0.50	5.70	0.10	0.10	0.10	0.30		0.20	
練馬区	0.08	0.54	6.00	6.08	0.23	0.08	0.08	0.46		0.15	
足立	0.38	0.15	1.31	7.46	0.08		0.31	0.46		0.08	
葛飾区			2.75	3.63	0.38	0.13	0.13	0.50		0.13	
江戸川	0.25	0.17	4.00	7.50		0.08		0.58	0.08		
八王子市	0.82	0.36	5.09	9.73	0.27	0.09		0.36	0.09		
町田市		0.13	2.50	12.63		0.25		0.13			
西多摩		0.25	2.00	5.13	0.75			0.38		0.13	
南多摩		0.22	2.11	5.22	0.44			0.89		0.11	
多摩立川		0.07	2.43	4.79	0.14		0.07	0.21			
多摩府中	0.29	0.14	3.00	7.10	0.24	0.33	0.05	0.62		0.05	
多摩小平	0.40	0.33	3.27	6.53	0.67	0.07	0.47	0.93		0.13	0.07
島しょ			3.00	3.00							
東京都	0.27	0.26	2.72	7.04	0.31	0.08	0.19	0.47	0.01	0.05	0.01

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		28.50								
中央区		40.20		4.00						
みなと		39.56								11.00
新宿区	0.13	37.75				1.00	0.50			2.50
文京		47.86		1.00						5.00
台東		39.14								
墨田区	0.20	41.75								9.00
江東区		41.14								
品川区		21.83								
目黒区		32.25								
大田区		41.81		0.50						
世田谷	0.13	42.56		0.50						11.50
渋谷区		32.86		1.00						
中野区		47.20								
杉並	0.09	37.76							0.50	7.50
池袋		38.29		3.00						
北区		52.20								
荒川区		59.57								
板橋区		32.47								8.00
練馬区		46.24								
足立		49.80		1.00						
葛飾区		68.54								16.00
江戸川		46.89								
八王子市		87.67								7.00
町田市		72.67								
西多摩		59.43								
南多摩		66.71								
多摩立川		48.05					1.00			6.00
多摩府中	0.05	50.82		0.33						6.33
多摩小平	0.07	74.43								8.00
島しょ		53.00								
東京都	0.03	49.67		0.37		0.08	0.08		0.04	5.60



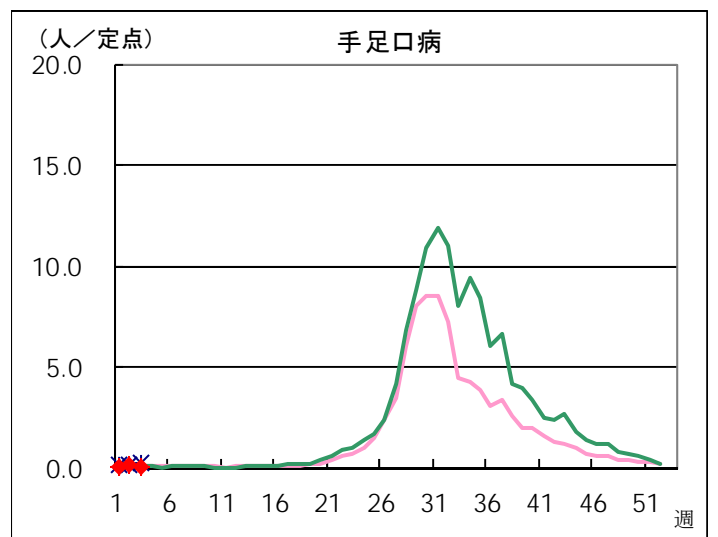
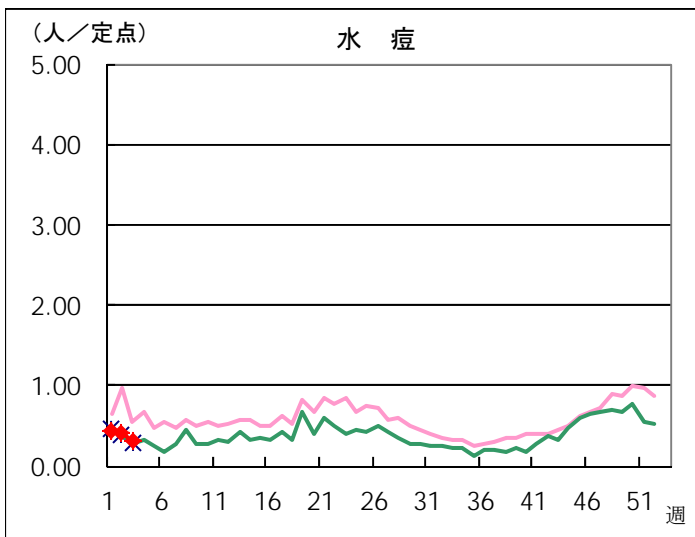
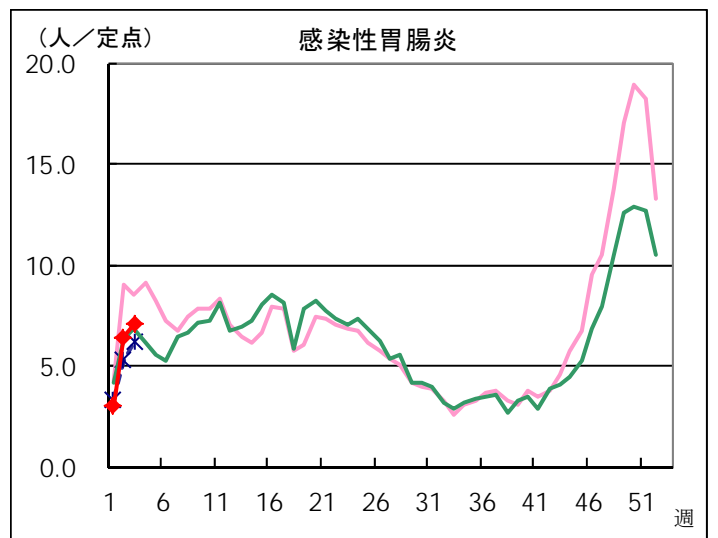
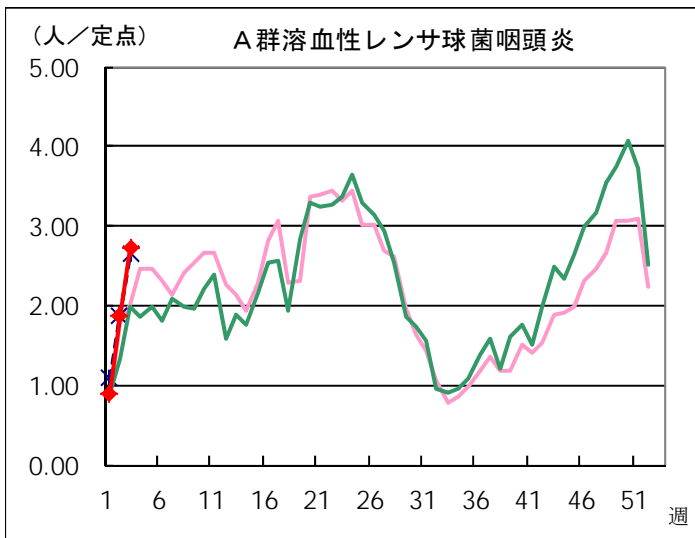
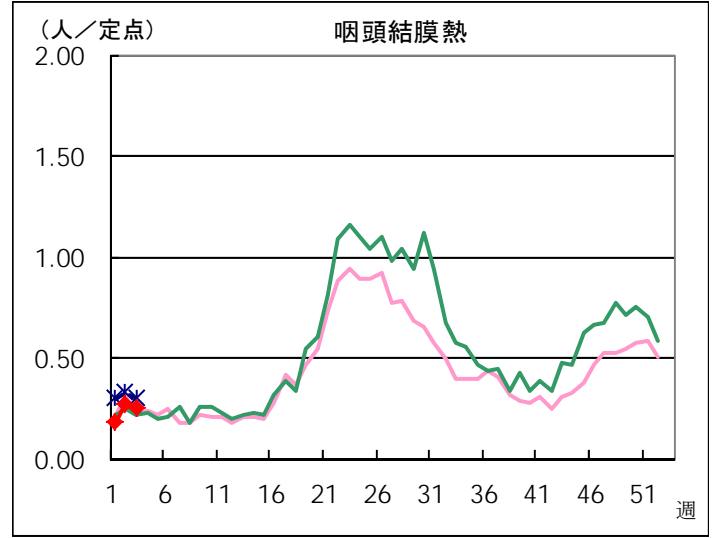
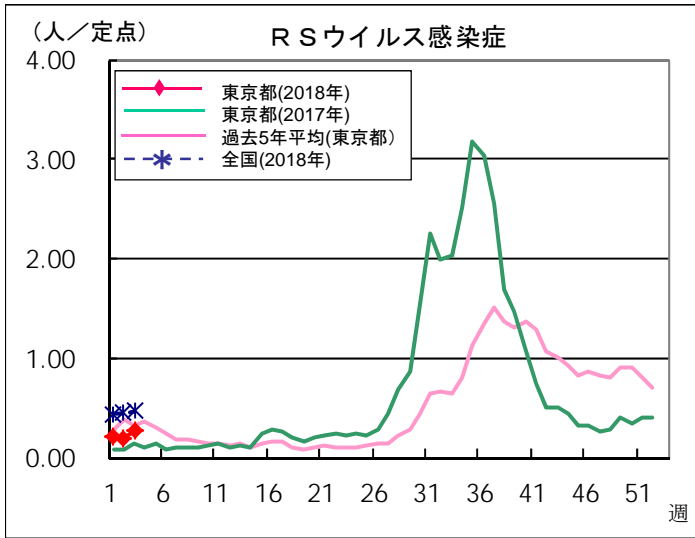
## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2018年3週

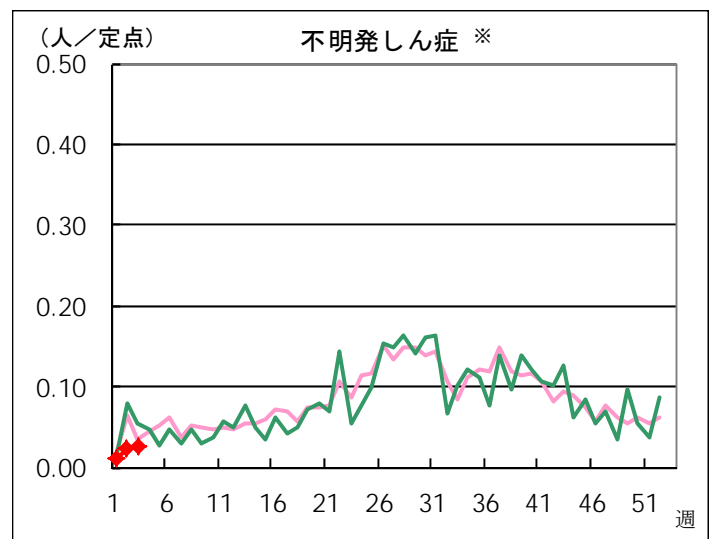
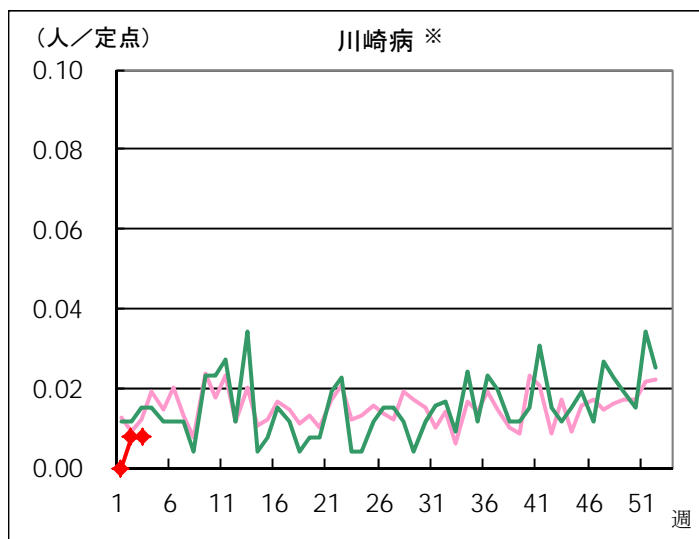
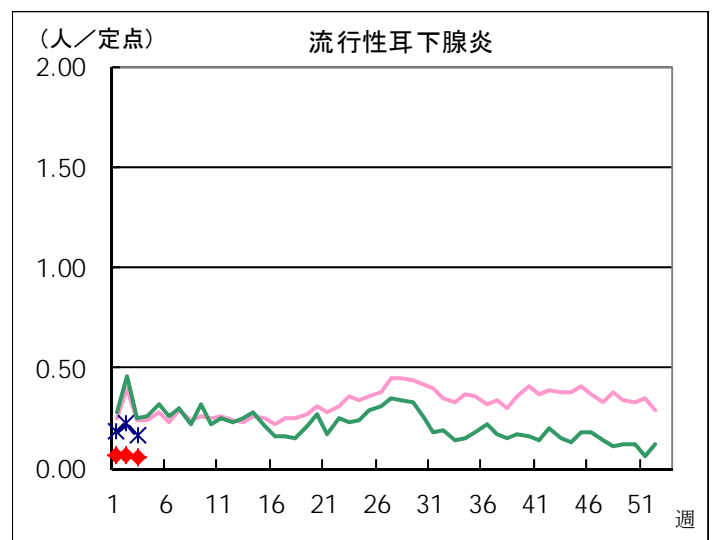
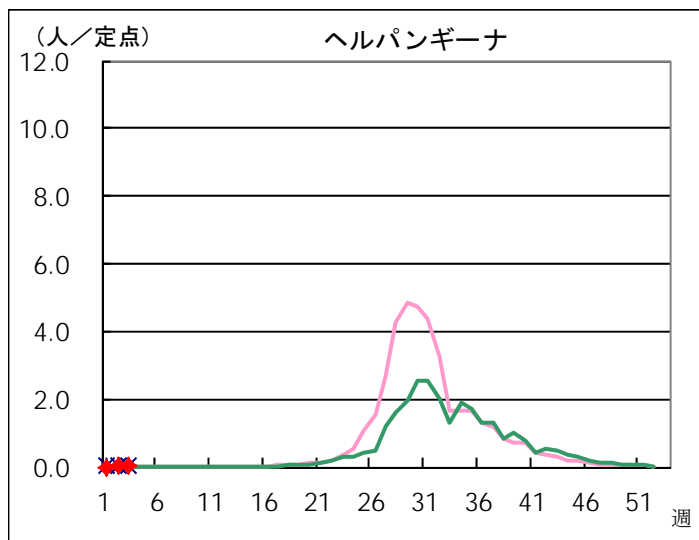
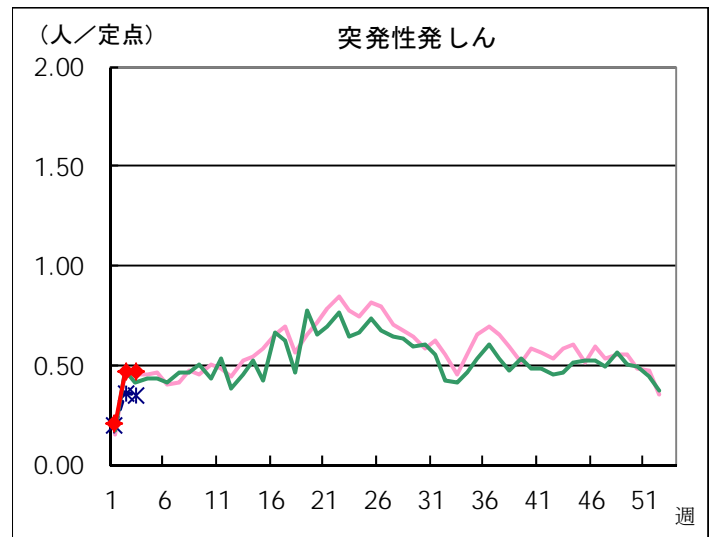
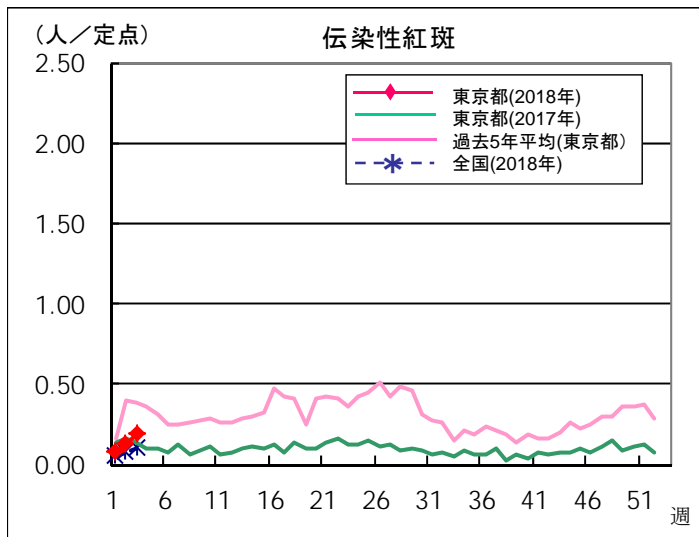
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	1			9				1			
中央区	1		6	32	1		1				
みなと		3	13	46	9			2			
新宿区	11		26	43	2			1			
文京		2	9	37	1	1	1	2			
台東		2	16	39	2			2			
墨田区	1	1	14	24				2			
江東区	2	3	25	92	3	2		4			
品川区		1	13	59	2	1	9	1			
目黒区	4	1	13	41	1		2	1		1	
大田区	12	9	53	100	4		4	8			1
世田谷	2	16	38	87	7		5	7		1	
渋谷区	1		1	21	3	1	3	2			
中野区			21	78	1	1	2	7			
杉並			11	82	3	1	5	4			
池袋	2		5	13							
北区	1		2	44	4			1			
荒川区	1		16	32			2	5		1	
板橋区	1		5	57	1	1	1	3		2	
練馬区	1	7	78	79	3	1	1	6		2	
足立	5	2	17	97	1		4	6		1	
葛飾区			22	29	3	1	1	4		1	
江戸川	3	2	48	90		1		7	1		
八王子市	9	4	56	107	3	1		4	1		
町田市		1	20	101		2		1			
西多摩		2	16	41	6			3		1	
南多摩		2	19	47	4			8		1	
多摩立川		1	34	67	2		1	3			
多摩府中	6	3	63	149	5	7	1	13		1	
多摩小平	6	5	49	98	10	1	7	14		2	1
島しょ			3	3							
東京都合計	70	67	712	1,844	81	22	50	122	2	14	2

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		114								
中央区		201		4						
みなと		356								11
新宿区	1	453				2	1			5
文京		335		1						5
台東		274								
墨田区	1	334								9
江東区		576								
品川区		262								
目黒区		258								
大田区		878		1						
世田谷	2	1064		1						23
渋谷区		230		1						
中野区		472								
杉並	1	642							1	15
池袋		268		3						
北区		522								
荒川区		417								
板橋区		487								8
練馬区		971								
足立		996		2						
葛飾区		891								16
江戸川		891								
八王子市		1578								7
町田市		872								
西多摩		832								
南多摩		934								
多摩立川		1009					1			6
多摩府中	1	1677		1						19
多摩小平	1	1712								16
島しょ		106								
東京都合計	7	20,612		14		2	2		1	140

# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2018年3週 現在)

## ◆ 小児科定点

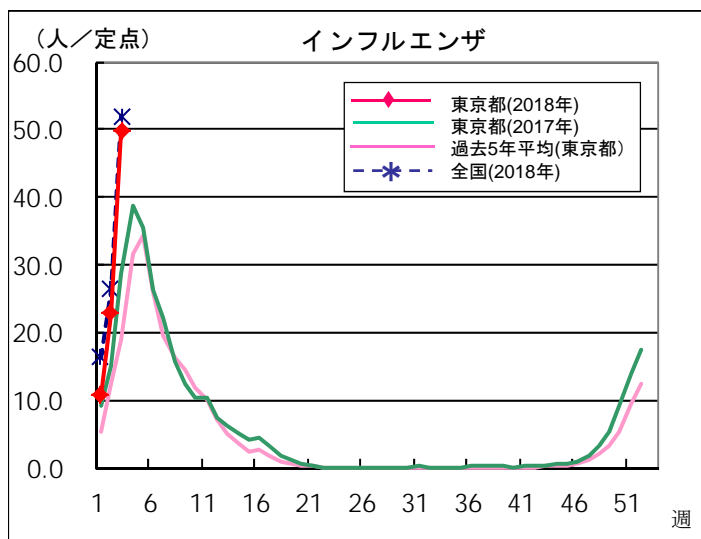




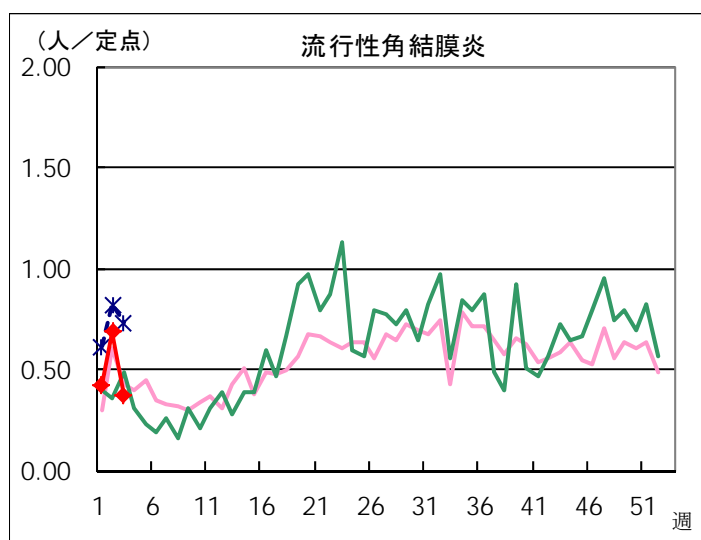
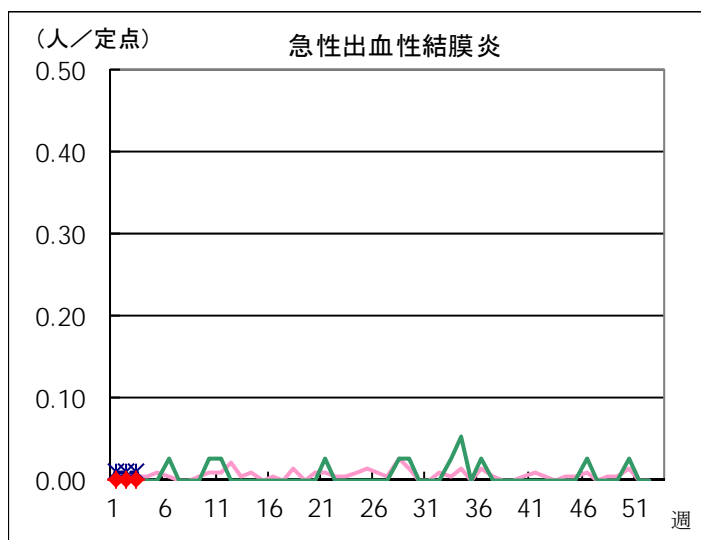
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

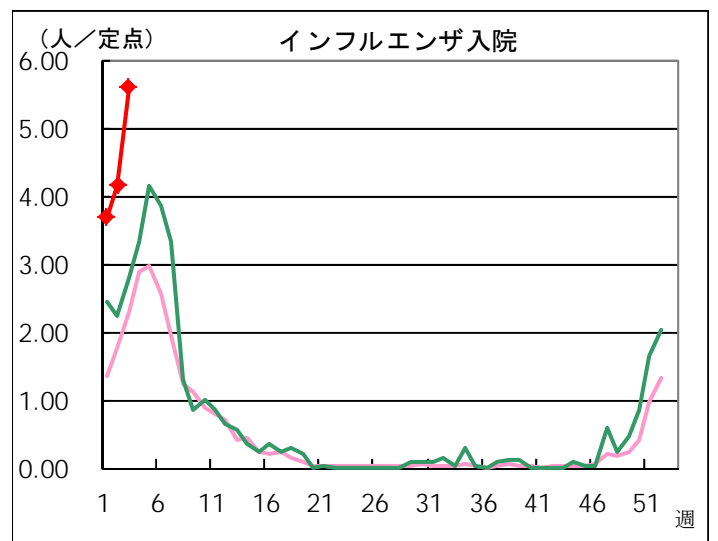
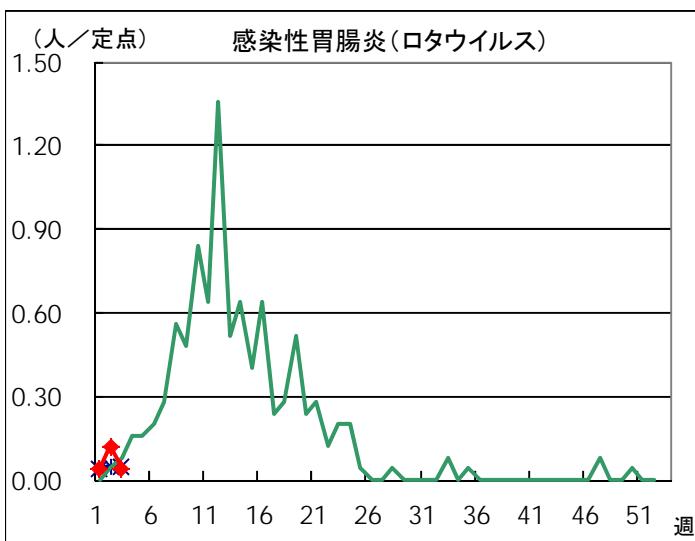
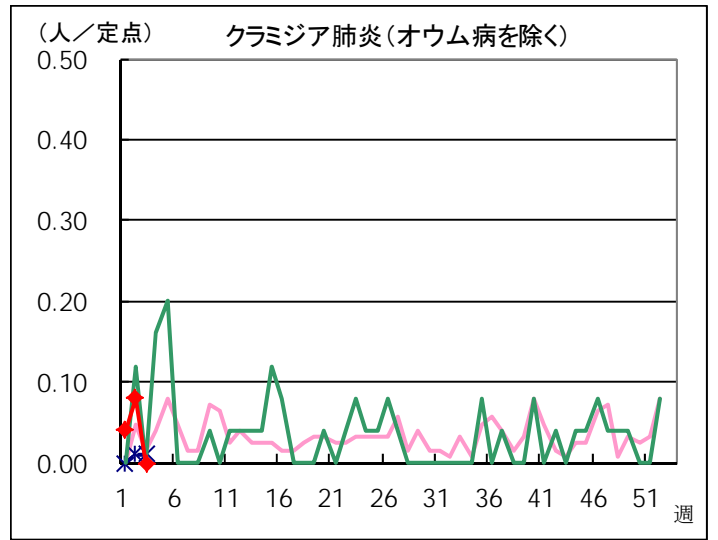
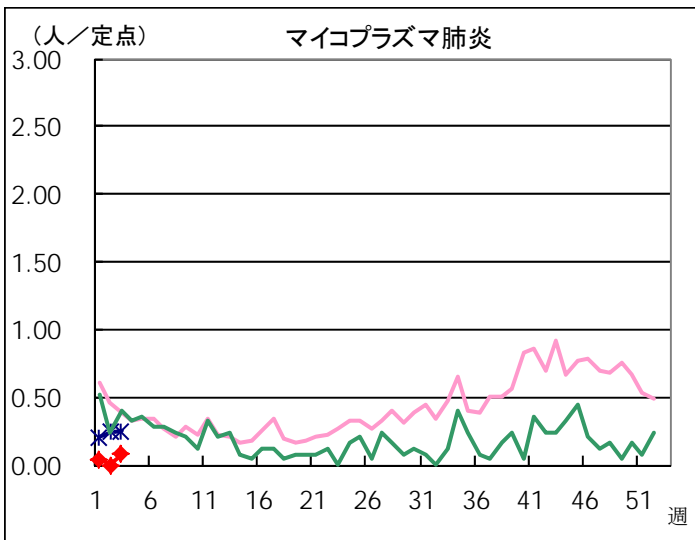
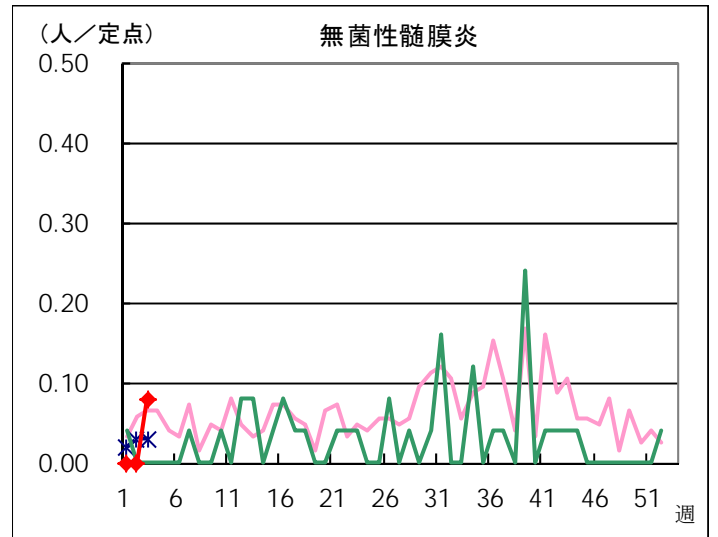
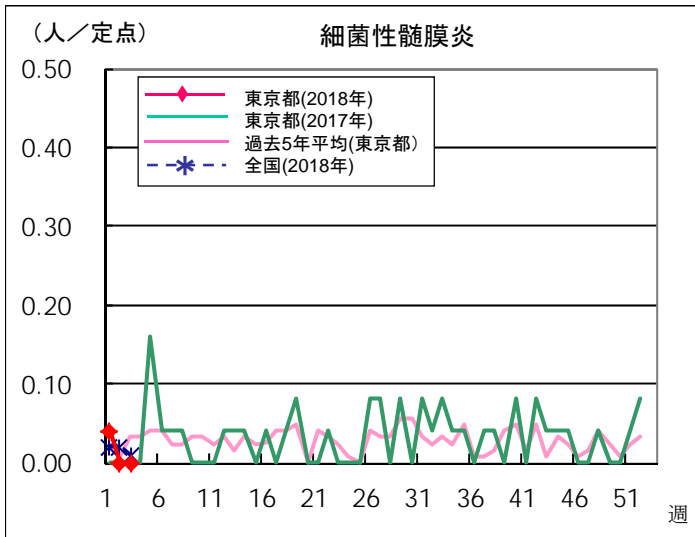
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
12/22	インフルエンザ様疾患	80	咽頭拭い液	ライノウイルス
12/22	咽頭結膜熱	2	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
12/22	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
12/22	流行性角結膜炎	25	結膜拭い液	アデノウイルス64型
12/25	伝染性紅斑	5	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
12/25	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2017年52週	6		1	7
2017-2018年 シーズン累計*	53		13	47

\* 2017-2018年シーズンの開始は第36週(2017年9月4日～)

## 病原体検出情報【週別】

検出病原体	2017年							
	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週
アデノウイルス	3	1		4	4	5	3	2
コクサッキーウイルスA群	1			1	1			
コクサッキーウイルスB群	1							
エコーウイルス		1		1				
エンテロウイルス71					2	1		
その他のエンテロウイルス				1				
ライノウイルス	1	1	1	4	1	2	3	1
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス				1	2	1		
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		1	1	2	1		1	2
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス							1	
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風疹ウイルス								
ヒトパルボウイルスB19					2	1	2	1
RSウイルス	1		1			1		
ノロウイルス				1	3	2	3	1
ロタウイルス								
サポウイルス			1	1	1			
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型	1			2	1	2		1
インフルエンザウイルスB型	1	3	1	4	7	13	9	7
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1	3	2	8	11	12	6	6
その他のウイルス								
A群溶血性レンサ球菌T-1型		3		1	2			
A群溶血性レンサ球菌T-3型							1	
A群溶血性レンサ球菌T-4型					2			
A群溶血性レンサ球菌T-12型			1					
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型				1				
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型				1	1		1	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型		2						
A群溶血性レンサ球菌T型別不能		1			1			
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								



# 病原体検出情報【臨床診断名別】

2017年45週～2017年52週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	3	16	18	24	5	9	5	9		3	7		16	107	43		3		3		1
アデノウイルス		12						1						3	3		3				
コクサッキーウイルスA群						1				2											
コクサッキーウイルスB群		1																			
エコーウイルス								1					1								
エンテロウイルス71						2							1								
その他のエンテロウイルス														1							
ライノウイルス		4				1	1			1			2	2	3						
ヒトメタニューモウイルス																					
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス					4																
ヒトヘルペスウイルス6型・7型							1	6					1								
EBウイルス																					
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス											1										
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)																					
風疹ウイルス																					
ヒトパルボウイルスB19							1										5				
RSウイルス	3																				
ノロウイルス				10																	
ロタウイルス																					
サボウイルス				3																	
インフルエンザウイルスAH1亜型																					
インフルエンザウイルスAH3亜型															7						
インフルエンザウイルスB型															38	7					
インフルエンザウイルスAH1pdm09															40	9					
その他のウイルス																					
A群溶血性レンサ球菌T-1型			6																		
A群溶血性レンサ球菌T-3型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T-4型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T-12型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			3																		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			2																		
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																					
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

## <感染症豆知識>

# 東京オリンピック・パラリンピックに向けた 感染症サーベイランスの強化

2020年7月から9月にかけて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（東京2020大会）が開催される。オリンピックは東京都内の競技会場を中心に9都道府県・4政令指定都市で開催される予定である（平成29年12月現在）。

この東京2020大会には、観戦を目的に100万人前後の人々が海外から来日する見込みであり、国外から様々な感染症が持ち込まれることが懸念されている。また、競技会場等において、一定の場所・期間に多くの人が集まることから、通常と異なる規模で感染が広がるリスクも想定される。

大会期間中に、注意すべき感染症としては、麻しん、風しん、腸管出血性大腸菌感染症、侵襲性髄膜炎感染症、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1・H7N9）等が挙げられ、また、デング熱など蚊媒介感染症の国内感染のリスクも無視できない。このような感染症の発生をより早期に確実に把握し、適切な対応につなげる必要があり、その基礎となる感染症サーベイランスを強化することが重要となる。

東京都では、東京2020大会に向けた感染症対策の検討を平成28年度から本格的に開始し、その中で大会に向けた今後の感染症サーベイランス体制の方向性を整理した。現在、東京都では、疾患定義に基づいた患者サーベイランス、集団発生を捉えるサーベイランス、病原体検査の結果から流行状況を把握するサーベイランス、発熱や発疹などの症状で把握するサーベイランスなどを実施している。これらの既存のサーベイランスは、十分に機能しており、この枠組みを維持しつつ、体制の強化を図っていく予定である。

今後、関係機関や専門家の方々の意見を得ながら、①感染症届出時における追加情報の収集（患者の渡航・滞在歴等）、②大会指定病院等からの情報収集の強化、③既存サーベイランスの運用改善、④多言語化も含めたサーベイランス情報の効果的な還元、⑤医療機関におけるサーベイランスの理解促進、⑥都民への感染症に関する啓発について具体策を検討していくこととしている。

（文責 東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課長 杉下由行）